

今年度で45回目を数える児童生徒読書感想文コンクールに、今回も優秀な作品が数多く寄せられ、26点が入賞作品に選ばれました。各賞を受賞した児童・生徒の皆さんを紹介します。また今月から、各部門の最優秀作品を順次紹介していきます。  
※コンクールの審査対象は小学校3年生以上。

# 第45回 児童生徒 読書感想文 コンクール



## ■小学校3年生の部 最優秀賞 二人の音楽家から学んだこと 和琴小学校 齋藤 来夏さん

わたしが、この本をえらんだ理由は、音楽の楽聖とよばれた天才作曲家ベートーベンと、神童とよばれた天才作曲家モーツアルト、二人のすごさをほかの人たちにも知ってほしいと思ったからです。

二人の一生をかんだんにまとめます。まず、ベートーベンは、一七七〇年二月十六日にドイツのボンという町で生まれました。小さいころからピアノが好きで、お父さんに習っていました。その後、モーツアルトやハイドンを弟子入りし、耳の病気になるやまされながらも多くの名曲をのこしました。一八二七年三月二十六日に一生を終えています。

次に、モーツアルトです。一七五六年一月二十七日、オーストリアのザルツブルクという町で生まれました。二才になる前からチェンバロをひいていて、五才になると、自分で作曲し、姉のナンネルとコンサートをひらいてえんそうしていました。大人になってからも数々の名曲をのこしています。そして、一七九一年十二月五日、三十五才の若さでえいえんのねむりにつきました。

わたしが、ベートーベンとモーツアルトの一生から学んだことは二つあります。  
一つ目は、あきらめぬな気持ちです。ベートーベンは、耳が聞こえなくなかったのですが、あきらめずに音楽を作りつづけ、さいごには百三十八曲を作り上げています。このよつなことを知って、わたしは、どんなに苦しいことがあっても、さいごまであきらめぬな気持ちで大切なのだと思いました。  
二つ目は、モーツアルトのすごいです。モ

ーツアルトは、二才のころにはチェンバロをひき始め、五才で作曲もしたというのがとてもすごいだと思えました。さらに、「姉といっしょにコンサートまでしたということ」がもっとすごいです。わたしは、モーツアルトのようにさいしょから何でもできるわけではありません。でも、れんしゅうとけいけんをつみかさね、色々なことができるようになりたいと思っていました。

わたしは、ピアノを習い始めて一年になります。九月にくしろでコンクールがあり、いきなりレベルの高い賞を取ったので、今度さつぽろで行われるコンクールに出場することになりました。そのコンクールでも入賞するのが今の私の目ひょうです。それなので、コンクールでえんそうする曲をがんばってれんしゅうしています。この二人の伝記を読んで、ベートーベンのように、どんなに苦しいことがあってもあきらめず、モーツアルトのように、たくさんの人々へすばらしいえんそうを聞かせられるようになりたいと心にきめました。これから、どんなことがあってもあきらめずががんばってすてきな曲をえんそうできるようになりたいです。

〔書名〕「学習漫画世界の伝記モーツアルト」  
野田 暉行／監修  
〔書名〕「学習漫画世界の伝記ベートーベン」  
野田 暉行／監修

〔守評〕二人の音楽家から学んだことという題名にふさわしく、読書で得たものを自己に生かそうとした姿勢がすっきりとまとめられた、たいへん優れた感想文でした。二冊の伝記を読み比べ、二人の音楽家の良さを読み取るうところからも、齋藤さんのピアノや音楽家への関心の深さを感じられます。読書を通して学んだ「あきらめぬな気持ち」や「練習や経験を積み重ねる大切さ」をこれからの演奏生活に生かしてほしいと願っています。

### 小学校の部 6年生

参加数 45点

▶最優秀賞／土屋 七星さん (弟子屈小)

▶優秀賞 西田 共希 君(美留和小)

選んだ本 化石ハンター

### 小学校の部 5年生

参加数 54点

▶最優秀賞／井出 果音さん (川湯小)

▶優秀賞 佐藤 新 君(弟子屈小)  
小野 萌笑 さん(弟子屈小)  
井上 琳 さん(川湯小)  
林 采音 さん(川湯小)

選んだ本 わたしの苦手なあの子

### 小学校の部 4年生

参加数 28点

▶最優秀賞／鈴木 哲平君 (弟子屈小)

▶優秀賞 木村 柊大 君(弟子屈小)  
在津 咲幸 さん(和琴小)

選んだ本 赤はな先生に会いたい!

### 小学校の部 3年生

参加数 24点

▶最優秀賞／齋藤 来夏さん (和琴小)

▶優秀賞 宮崎 翔大 君(川湯小)  
藤原 悠太郎 君(川湯小)

選んだ本 学習漫画世界の伝記モーツアルトベートーベン

## ■小学校4年生の部 最優秀賞 赤はな先生みたくになりたい！ 弟子屈小学校 鈴木 哲平君

ぼくが、本屋さんで何の本を読もうかと悩んでいる時、たくさん本の本がならんでいる中で、目に入ったのが「赤はな先生に会いたい」という題名と「エロのかっこ」をした人の表紙でした。読んでみようと思ったのは、それだけではなく、ぼくは今、先生の仕事にきょう味が、赤はな先生ってどんな先生なんだろうと思ったからです。

赤はな先生の名前は、そえ島まさ利さんという、小学校の教員でした。先生になりたいと思ったのは、たんに先生のえいきょうだったそう、ぼくもあこがれの先生がいてこの仕事にきょう味を持ち始めたので、なんだかきつかけがにているなあとうれしくなりました。

赤はな先生は、先生になって6年目に病気をこじらせてしまい、りょうよう生活を経て、院内学級の先生になりました。先生だけではなくて道化しも学んで入院中の子どもたちをばけまわっていました。

この本には、その院内学級の事がくわしく書かれています。  
本に出てくる赤はな先生の言葉は、どれもぼくの心を動かす言葉ばかりでした。その中でもいっしょに残ったのは「当事者意識」という言葉です。自分の問題であるという意識を持つことで「思いやりをもつ」「相手の気持ちを考える」ということだそうです。でもこれはすこくむすかしいです。赤はな先生は、当事者意識をもつためには、想ぞうする力や感じょうを大切にできる力をつけること、いいと言っています。うれしい、楽しいとい

### 高等学校の部

参加数 52点

▶最優秀賞／佐々木 愛さん (弟子屈高2年)

▶優秀賞 大越 愛梨奈 さん(弟高1年)  
樋川 結稀 さん(弟高1年)  
陶野 聖華 さん(弟高2年)

選んだ本 フタバズキリウもうひとつの物語

### 中学校の部 3年生

参加数 44点

▶最優秀賞／神田 幸成君 (川湯中)

▶優秀賞 羽田 安梨沙 さん(弟子屈中)  
秋山 健悟 君(弟子屈中)

選んだ本 人間失格

### 中学校の部 2年生

参加数 52点

▶最優秀賞／坪井 馨代さん (弟子屈中)

▶優秀賞 瀬戸 大樹 君(弟子屈中)  
澤頭 優彩 さん(川湯中)

選んだ本 小説チア☆ダン

### 中学校の部 1年生

参加数 46点

▶最優秀賞／大村 紫苑さん (川湯中)

▶優秀賞 坂上 瑠璃 さん(弟子屈中)  
萩原 愛 さん(弟子屈中)

選んだ本 旅猫レポート

う感じょうばかりじゃなく、悲しい、くやしという感じょうも大切なんだそう。ぼくは今までくやしさがたりすると、不機げんになってそれがいけない事だと思っていました。でも、その感じょうも大切にして次のエネルギーに変えてあげればいいんだと気づきました。

そして、この本を読んで心に残ったのは、院内学級の男の子が書いた「お家にいられば幸せ、ごはんが食べられれば幸せ、みんなが幸せと思わないことも幸せに思えるから、幸せがいっぱいある」という詩です。入院している子どもたちには、したくてもできない事がたくさんあります。ぼくがあたり前のようになっている事すべてが幸せな事なんだと思いました。この詩を読んで相手の気持ちを考えることができたことで、今まで考えもしなかった気持ちを持つことができたのだと思います。

先生の言葉の力つてすごいと思います。赤はな先生だけではなくてぼくが今まで出会った先生方にももらった言葉は、いつもぼくを前向きにさせてくれました。

しょう来、もし本当に先生になれたら赤はな先生みたくに心のやさしい、あたたかい言葉をかけてあげられる先生になりたいです。  
〔書名〕「赤はな先生に会いたい！」  
副島 賢和／著

〔守評〕素晴らしい読書経験をなさいましたね。当事者意識を持つことの大切さや難しさ、当たり前のことに幸せを感じる心の美しさ、そして言葉の力。それに触れたあなただけの驚きや喜び、そして学びが素直な文章からストレートに伝わってきました。この経験をあなたの宝物として、これからもよい良い読書を重ね、人生を豊かにして欲しいと願っています。